

課題設定による先導的人文学・社会科学研究推進事業（学術知共創プログラム）
研究概要

課題

C：新たな人類社会を形成する価値の創造

研究テーマ名

「プラスチック汚染の実態解明を通じた共通価値創造：循環経済へのネットワーク創出」

責任機関

学校法人谷岡学園大阪商業大学

研究実施期間

令和3年10月～令和9年3月

研究プロジェクトチームの体制

研究代表者等の別	氏名	所属機関・部局・職名
研究代表者	原田禎夫	大阪商業大学・公共学部・准教授
<マイクロプラスチック調査グループ> グループリーダー	高田秀重	東京農工大学・（連合）農学研究科（研究院）・教授
分担者	白木克繁	東京農工大学・（連合）農学研究科（研究院）・准教授
分担者	高澤伸江	京都先端科学大学・バイオ環境学部・准教授
分担者	駒谷慎太郎	株式会社堀場テクノサービス・分析技術部・本部長
<環境教育グループ> グループリーダー	小林かおり	相山女学園大学・国際コミュニケーション学部・准教授
分担者	岡本牧子	琉球大学・教育学部・准教授
分担者	町田善康	美幌博物館・学芸主査
分担者	瀬川貴之	一般社団法人ClearWaterProject／株式会社creato
分担者	豊田知八	保津川遊船企業組合・代表理事
分担者	松永仁志	株式会社JTB・教育旅行名古屋支店
<新たな物質循環の創出グループ> グループリーダー	嶋田大作	龍谷大学・農学部食料農業システム学科・准教授
分担者	中嶋貴子	大阪商業大学・公共学部・専任講師
分担者	千葉知世	大阪府立大学・人間社会システム科学研究科・准教授

分担者	有元伸一	株式会社ローソンSDGs推進部部長／日本フランチイズ協会環境委員長
-----	------	-----------------------------------

配分（予定）額

（単位：円）

令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
9,720,100円	19,112,600円	19,126,900円	19,120,400円
令和7年度	令和8年度		
19,099,600円	19,136,000円		

※令和4年度・令和5年度・令和6年度・令和7年度・令和8年度については予定額

研究目的の概要

本研究では、地球規模で深刻化するプラスチック汚染に対して、自然科学の知見も生かしながら、人文学・社会科学の観点からプラスチック汚染にアプローチする。ほとんど明らかにされていない農業地域からのプラスチックごみの流出の実態を解明することを軸に、研究者のみならず市民参加型の調査手法を確立することで、各ステークホルダー間の情報の断絶を超克し、問題解決に向けた国際的なネットワークを構築し、市民の意識や行動変容をどのように促すことができるのか明らかにする。

研究計画の概要

本研究では、プラスチック汚染からの脱却に向けて、国内外のフィールドでの研究を軸に、自然科学の知見も活かしながら、人々の行動変容を促す条件の解明に向けて、（１）市民参加型調査によるマイクロプラスチックの流出メカニズムの解明、（２）環境教育を通じた国内外のネットワークづくりと意識変容の調査、（３）地域における新たな流通と物質循環システムの構築、に取り組む。これらを通じて、住民・行政・事業者・研究者が共通のテーブルにつき、脱プラスチックとバイオマスを活用した地域内の物質循環を通じた持続可能な社会の構築という新たな価値を創造する。